

スーパーホーネット



2003年3月20日生 牡 鹿毛
父:ロドリゴデトリアーノ
母:ユウサンポリッシュ(母の父:エルセニョール)
浦河・ガーベラパークスタッド生産
調教師:矢作芳人(栗東) 馬主:森本恵男氏→田島政光氏



不撓不屈の名マイラー

スーパーホーネットの武器は鋭い末脚。だが瞬発力=フィジカル的な才能よりむしろ、上昇と挽回と復活を遂げる精神力=メンタル的な強さが目立つ競走生活だったといえる。幾度も挫折を経験しながらそのたびにカムバックを果たし、自身をマイル戦線に欠かせない存在として定着させる。2歳秋のデビューから7歳秋の引退まで、スーパーホーネットは丸5年の長きにわたってそんな姿を見せ続けたのだ。

最初の試練は2006年の3歳シーズン。前年の朝日杯フューチュリティステークスでフサイチリシャールをクビ差まで追い詰める2着と健闘、高い将来性を感じさせたスーパーホーネットだったが、弥生賞5着、皐月賞10着、日本ダービー15着とクラシックロードでは惨敗を続けた。得意のマイルに戻っても、28%増が響いたか富士ステークスでは14着。しかしカシオペアステークスで1年ぶりの復活勝利をあげると、翌2007年にはオープン特別3勝、スワンステークスで重賞初制覇、マイルチャンピオンシップはダイワメジャーのクビ差2着と大きく飛躍する。2008年も、京王杯スプリングカップで重賞2勝目をマーク、毎日王冠では断然人気の女傑ウオッカを撃破、そして2年連続のマイルチャンピオンシップ2着と好走を続けた。この間、読売マイラーズカップで最下位に敗れながら次走・都大路ステークスでは挽回の勝利をあげている。また安田記念では2007年が18頭立て18番人気、翌2008年には1番人気と1年で評価を急上昇させてもいる。このままでは終われないと立ち上がる、精神力の強さがなせる業だったろう。

2009年にはシーズン初戦の読売マイラーズカップを勝利しながら安田記念では見せ場なく敗れ、しかも脚部不安による長期休養を経験。2010年のフェブラリーステークスで復帰したもの、14着のザレマからなんと2秒5も離れた最下位15着と大敗を喫する。続く読売マイラーズカップでも9着にとどまった。が、ここから再上昇するのがスーパーホーネットの真骨頂。安田記念では直線大外一気の豪脚を繰り出してショウワモダンの半馬身差2着に追い込むのだ。安田記念には4年連続で挑み、11着、8着、7着、そして2着と確実に成績をあげているのも、上昇を旨とするこの馬らしい点である。

GIは13戦して2着4回。だが4つのGIIタイトルを含めて生涯に計10勝をマーク。相次ぐ苦難と惨敗を強靱なメンタルで克服しながら戦った、名バイプレーヤーである。

2008年★第59回毎日王冠(GII) 逃げの手にてた大本命のウオッカ(帽色・黒)を、ゴール寸前でスーパーホーネット(帽色・白)が捉えて3つ目の重賞タイトルを獲得。

年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
2005. 9. 11	札幌	2歳新馬	芝1800	4	1:55.4	岩崎祐己
9. 24	札幌	2歳未勝利	芝1500	1	1:31.3	四位洋文
10. 15	京都	デイリー杯2歳S(GII)	芝1600	3	1:37.5	四位洋文
10. 30	東京	くるみ賞	芝1400	1	1:23.0	四位洋文
12. 11	中山	朝日杯フューチュリティS(GI)	芝1600	2	1:33.7	内田博幸
2006. 3. 5	中山	報知杯弥生賞(GII)	芝2000	5	2:02.1	四位洋文
4. 16	中山	皐月賞(GI)	芝2000	10	2:01.2	四位洋文
5. 28	東京	東京優駿(GI)	芝2400	15	2:30.6	川田将雅
10. 21	東京	富士S(GIII)	芝1600	14	1:34.6	吉田 豊
11. 4	京都	カシオペアS	芝1800	1	1:46.8	安部幸夫
11. 19	京都	マイルチャンピオンシップ(GI)	芝1600	9	1:33.6	幸 英明
2007. 2. 25	阪神	阪急杯(GIII)	芝1400	7	1:21.0	安部幸夫
3. 10	阪神	大阪城S	芝1800	1	1:47.2	藤岡佑介
4. 14	阪神	読売マイラーズC(GII)	芝1600	15	1:34.6	藤岡佑介
5. 6	京都	都大路S	芝1600	1	1:36.4	藤岡佑介
6. 3	東京	安田記念(GI)	芝1600	11	1:33.1	藤岡佑介
9. 30	阪神	ポートアイランドS	芝1600	1	1:33.3	藤岡佑介
10. 27	京都	毎日放送賞スワンS(GII)	芝1400	1	1:20.7	藤岡佑介
11. 18	京都	マイルチャンピオンシップ(GI)	芝1600	2	1:32.7	藤岡佑介
2008. 3. 30	中京	高松宮記念(GI)	芝1200	5	1:07.4	藤岡佑介
5. 17	東京	京王杯スプリングC(GII)	芝1400	1	1:20.8	藤岡佑介
6. 8	東京	安田記念(GI)	芝1600	8	1:33.7	藤岡佑介
10. 12	東京	毎日王冠(GII)	芝1800	1	1:44.6	藤岡佑介
11. 23	京都	マイルチャンピオンシップ(GI)	芝1600	2	1:32.7	藤岡佑介
12. 14	香港	香港マイル(GI)	芝1600	5	1:33.3	藤岡佑介
2009. 4. 18	阪神	読売マイラーズC(GII)	芝1600	1	1:33.9	藤岡佑介
6. 7	東京	安田記念(GI)	芝1600	7	1:34.2	藤岡佑介
2010. 2. 21	東京	フェブラリーS(GI)	ダ1600	15	1:41.9	藤岡佑介
4. 17	阪神	読売マイラーズC(GII)	芝1600	9	1:33.7	藤岡佑介
6. 6	東京	安田記念(GI)	芝1600	2	1:31.8	藤岡佑介
10. 31	東京	天皇賞(秋)(GI)	芝2000	11	1:59.5	藤岡佑介

※レース名は当時の表記による



2007年★第24回マイルチャンピオンシップ(GI) 中団追走から直線で外めをついて鋭く伸びたスーパーホーネット(帽色・青・右)だったが、先に抜け出したダイワメジャー(帽色・青・左)にクビ差屈かず2着に惜敗。